

つぼみ保育園における緊急時の対応について

東北地方に大きな被害をもたらした東日本大震災から、長い年月が経ちました。大地震があった午後2時46分は、丁度お昼寝の目覚めの時でしたので子ども達は建物の中におりました。建物の構造上における耐震装置によって子ども達は守られ、大きな被害はありませんでした。

それと同時に、つぼみ保育園の建物が安全であることも証明されました。

しかし、その後に起きた様々な自然災害は、皆様のご記憶にもある通り都市機能をマヒさせる事象も度々ありました。このような様々な教訓から、万が一に備え下記のような対応を基本とし園児の安全を図ってまいりたいと思います。

(災害の状況により、対応が変更することがあるかもしれませんが、お子様を保護者の方に直接お渡ししない限りは、保育園においてお預かりしておりますので、慌てず保育園までお迎えをお願いします。)

記

① 大きな地震(震度5弱以上)が発生した場合

園庭中央に避難後、園舎の安全を確認し入室したのち、保護者のお迎えを待ちます。

② 水害・津波警報が出た場合

災害マップに則り、当園は垂直避難をするという事で、3階ホールに避難し保護者の皆様のお迎えを待ちます。

③ 原発事故が起きた場合

園児は室内で待機します。

防災頭巾・マスクのできる子はマスクなどで、肌の露出部分を覆うようにし、落ち着いて保護者のお迎えを待ちます。

④ 火災が起きた場合

風向きを考慮し、下小岩小学校若しくは、南小岩7丁目児童遊園(親水緑道沿い)に歩いて避難します。

以上